

## 新年おめでとうございます

横浜市建築設計協同組合理事長 小澤 勝美

新年の挨拶	1
新理事からのご挨拶	2
横浜市建築局 優良建築設計者 表彰	3-4
プロポーザル	5-6
建築セミナー	7
オンライン 研修会報告	8
絵画同好会・ 新代表者就任	9
協力会だより・ 編集後記	10

皆様、おめでとうございます。新理事長に就任して初めての新年を迎えます。

コロナ禍でのスタートでしたが、顧問をはじめ、専務、組合員の方々のお力で無事に組合事業を進められました。新年を迎え、新たな想いをもち、受注減対策や会員の高齢化、後継者問題等の「リスク」の回避及び約300校の小中学校の建替え計画や技術やデザイン力の研鑽による新たな設計環境の確保等による「機会」の創出に向けて尽力します。

今年はYSK創立40周年を迎え、横浜市でも公共建築100年という節目の年に当たります。この間、横浜市の小中学校500余校の耐震診断、耐震補強設計や2,700余りの横浜市公共施設の維持保全の設計、建物の長寿命化に係わる長期修繕計画や建築基準法12条点検、住宅設計の会員参加のコンペによる住宅プロデュースなどを行ってきました。

1年の計は元旦に有りとありますが、今年目標やYSKの存在意義を考えてみたいと思います。昨年の記憶に残るフレーズとしては「脱炭素へ大競争時代」「北欧型の暮らし（地球からの贈物を小人口で）」「ドイツの森林面積は日本の半分程度なのに林業の規模は10倍以上」「豊富な海洋資源」「火山地震大国の資源」「IR」「訪日外国人4000万人目前」「オリンピック」「ごった煮の街関内」「はやぶさ2は11年後へ」等々です。この中には永遠のテーマといえるものが数多く含まれていると言えるでしょう。

持続可能な建築とは、一例として木造という観点から、再生可能環境材料として木材の活用、無形遺産となる木造伝統技術匠の技の継承、木造耐火建築物等新技術の開発、木材の川上・川下の好循環の確立、自然との調和や新たな景観の創生等を兼ね備えたものだと思います。

具体的には今後の建築家の皆さんに期待しますが、YSKとしても微力ながら実現に向けて日夜努力していきたいと考えます。

皆様方のご支援とご理解をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新理事からのご挨拶

### YSK理事長退任のご挨拶

顧問理事 金子 修司

株式会社金子設計

平成15年度から18年間の長きにわたり横浜市建築設計協同組合の理事長を務めてまいりましたが、この度、小澤理事長にバトンタッチをすることが出来ました。皆様の長い間のご協力とご理解に改めて感謝を申し上げます。またYSKを支え、応援してくださっている協力会、関係諸団体の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

思い起こせばこの18年間には経験したことの無い多くの出来事が起こりました。阪神淡路大震災、東日本大震災など、地震災害の多発は日本列島が活動期に入った証でしょう。頻発する異常気象の災害も予防・防災の科学やIT技術の進化による安心と安全な社会の実現が急務です。安全と安心は建築の大きなテーマですが、あの忌まわしい姉歯耐震偽装事件のために設計者への信頼は低下し、建築基準法の改正は性悪説に基づいて行われてしまったことは誠に残念でなりません。社会からの信頼を取り戻すべく努力してきましたが、今後への大きな課題を残したままです。

また、地球温暖化への世界的な取組、環境への建築の役割も大きな課題です。さらに世界中に蔓延したコロナウイルスは社会構造や生活を全て一変させ、まだまだ予断を許さない状況です。

建築はあらゆる分野から人々の生活を多面的に支える大きな役割を持っています。YSKは「社会から必要とされる組織で在れ」を目標に今日まで活動してきました。今年がYSK創立40周年の節目となり、また奇しくも横浜市の営繕事務を執り行う建築課が誕生して100年を迎え、建築局100周年のお祝いにも協力させていただく事となっております。

引き続きYSKの活動に、ご理解、ご指導くださることをお願い申し上げます。



### 武士道精神に則って貢献していきたい

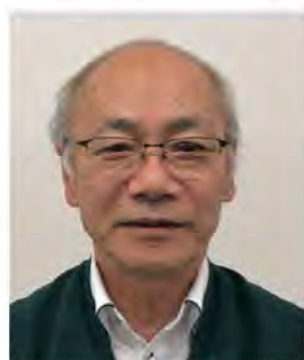
専務理事・事務局長 松島 宏充

横浜市建築設計協同組合

横浜市建築局、建築保全公社で長年にわたり公共建築の新築・修繕に携わり、退職後、次世代の子供たちに「人の優しさを教えたくて」建築の世界をリセットし、保育士を目指して受験、合格後、保育園に3年間勤務しているときにYSKからの誘いを受け、再び建築の世界に関わることになりました。

着任早々から新事務所の移転折衝、新型コロナの感染拡大で各種イベントの中止、銀行借り入れの取り止め等、初めての経験を色々としております。

YSKの今後の発展と横浜市の公共建築を安全・安心でより長く横浜市民に利用していただけるよう今までの経験を生かし、アナログ的に武士道精神に則って貢献していきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。



### 理事就任にあたり

理事 稲葉 晃宏

株式会社 須山設計

まだまだ自覚の足りない未熟者ですが、皆様からご推挙いただきました事を重く受け止め、理事の責務を果たせるよう、精一杯、務めて参りたいと思います。

早速、広報委員会の担当理事に着任しましたが、昨今のコミュニケーションがなかなか取りづらい情勢の中で、何か有益な情報交換ができるような試みなど、社会の変遷に合わせた新しい活動も、積極的に取り組みたいと思っております。引き続きのご支援、ご指導賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。





## 横浜市建築局優良建築設計者表彰

地域貢献を理念に掲げる当組合から、今年度も受賞者が複数選定されました。技術と創造力及び意欲の向上を図り、横浜市の優秀な公共建築物を確保し、市民サービスの向上に寄与するための規範となる受賞作品を御紹介します。

### 改修・改造部門 優秀賞

株式会社 川喜田建築設計事務所 川喜田 俊敬

#### 綱島東小学校

綱島東小学校は、東急東横線綱島駅から東へ徒歩10分の閑静な住宅街に位置する小学校です。綱島駅周辺の再開発に伴う児童数の急激な増加による不足教室対策として、特別教室棟の増築・改修による教育環境向上、職員室の増築による職務環境の向上、昇降機室棟・渡り廊下棟の増築による学校全体の機能向上を目的として計画致しました。

学びの中心となる特別教室棟、それを繋ぐ渡り廊下の整備を通して「わくわくする学び舎」をコンセプトに積極的に木質化を図り、温かみある空間を提案致しました。

特別教室棟の1・2階をつなぐ吹抜空間に、既存レンガタイルを活かしなが見付幅150mmの杉板張り仕上げを施し、児童の交流を促進する温もりあるギャラリー空間となるよう整備しました。特別教室は各教科の特徴を表出するよう床材の色に変化を持たせ、逆に廊下はシンプルな配色として教室やギャラリーと対比させたデザインとしました。

特別教室棟と校舎棟をつなぐ渡り廊下は、天井材に杉積層材のルーバー仕上げとして木質化を図り、壁はシンプルな塗装仕上げとして自然採光・自然通風を確保し、明るく風通しの良い空間を実現しました。また渡り廊下の端部には掲示可能なストランドボードを設置し、特別教室棟へ向かうわくわく感を促す前室の役割を担うよう設計致しました。

児童の交流を促進し、児童に親しまれ、愛着を持って使われることを願っております。





## 改修・改造部門 優秀賞

株式会社 須山設計 稲葉 晃宏

### クリーンセンター

クリーンセンターは、MM21 地区から排出される廃棄物を収集する施設として誕生しましたが、およそ 30 年経過の後、その役目を終えた処で、市庁舎の移転に伴う活用の一つとして、本市が一括所管する共用書庫と、セキュリティ上、一般の来庁者とは区分が必要なオフィスへ再整備する事になりました。勝手ながら市庁舎移転の一翼を担う事業と捉え、絶対に遅延、失態が許されない緊張した心構えで、短期間の中でシビレル仕事をこなしたものです。

集塵施設であった名残のマシンハッチを活用して昇降機を設けたり、バカでかい機械があった吹抜けに集密書架を乗せるスラブをどうにか築造したり、仮設キュービクルを設けて、ほぼ無停電で巨大なキュービクルを更新したり、入居者の転出転入のスキをつけて、空調給排水を更新したり、須山設計史上最大のミッションは、良い経験になりました。意匠設計として受賞を代表しましたが、構造担当は S.D.E 園田様、設備担当は JI 設計 谷越様、松宮様のご協力あっての受賞になりますので、紙面をお借りして、感謝申し上げます。

#### 改修前



#### 改修後



## 設備部門 優秀賞

有限会社 小栗事務所 小栗 孝康

### 神奈川水再生センター等建築付帯設備改修

神奈川水再生センター放送設備改修と、平沼ポンプ場照明 LED 化及び自動火災報知設備の改修で主に老朽化に伴う更新設計でしたが、各施設の特徴を理解し単純な更新設計ではなく施設担当者からヒアリングを行い、維持管理に配慮した設計を心掛けました。

#### 【平沼ポンプ場】

照明設計では薬品や浸透水によりどうしても腐食してしまう露出金属配管を可能な限り耐衝撃性硬質塩化ビニル管へ交換し、高い耐食性、耐衝撃性を持たせる設計とし、壁面取付の器具は S U S 製のダクターで浮かせ、浸透水による水害を防ぐよう工夫しました。自火報設備については現行の法律に準拠し既存更新としました。

#### 【神奈川水再生センター】

既存のスピーカ線は躯体打ち込み配管内での断線等の報告もあり今後の維持管理や修繕を考慮し、可能な限り全ての配管を露出配管にてやり替えました。

各スピーカについては主にプラント機器廻りや高所部に設置しており、施工するにあたってはプラント機器の保護と施工者の安全に配慮した足場の計画とするため、施設担当者と綿密に打合せを行い、資材の搬入ルート等も含め作業効率を考慮した設計としました。

#### 【施工管理】

両施設とも共通でプラント設備がある条件での施工が主となり、足場の設置に工夫が必要で、枠組み足場だけではプラント機器廻りの架設が不可能なため楔足場を採用しました。また、プラント機器へのメンテナンスルートを確認するための工夫を行い、施設担当者のご協力のもと施工者の努力もあり、安全かつスムーズな施工が出来たと思います。





# プロポーザル

今年度も学校建替えの他、多数のプロポーザル案件が公募されています。嬉しい事に、以下のとおり、多数の受託者が組合員から選定されました。今後もこの動向は継続されるものと思われます。組合員の機会獲得を向上するために、是非、ご参照ください。(提案書の詳細はQRコードより、横浜HPにてご覧ください)

## 今宿小学校建替え工事

- ・実施要綱の各提案項目の要求事項を提案書内に明示し、要求に対して確実に回答すると共に審査のしやすさに配慮しています。
- ・提案書のレイアウトは絵と文字のバランス、読みやすさ、色使いも統一感ができるように配慮しています。



## つつじが丘小学校建替え工事

つつじが丘小学校は東急田園都市線青葉台駅より徒歩15分程度の住宅街に位置する小学校です。基本構想をベースに外部空間の充実と既存体育館との関係をブラッシュアップし、『子ども・自然・地域がつながる みんなの学校』をコンセプトに、『つつじひろば』、『みんなのひろば』、『地域の縁側』を提案しました。

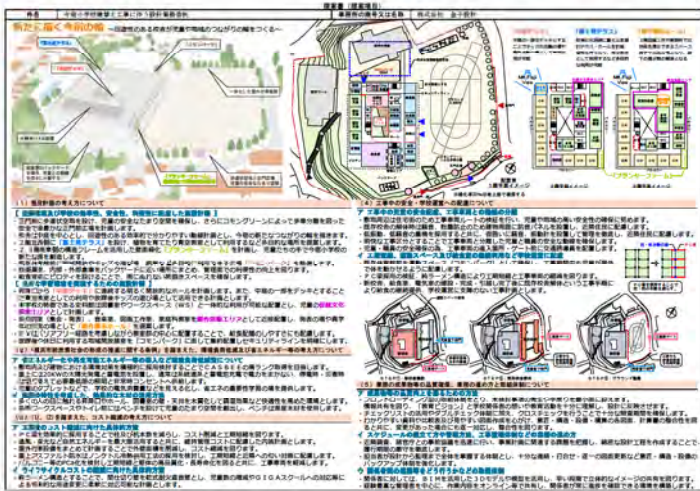


## 矢向小学校建替え工事

基本構想案を分析した上で建物配置を大きく変更し、広いグラウンドとコンパクトな校舎の提案に対して評価をいただきました。児童に最適な学習環境として、教職員が働きやすい職場として、地域の防災拠点として、みんなに愛される学校を計画しました。



## 株式会社 金子設計



## 株式会社川喜田建築設計事務所



## 株式会社 田辺設計





## 菊名小学校建替え工事

本プロポーザルにあたり、松田平田設計と設計協同企業体を構成し参加いたしました。松田平田設計の実績と技術、当社の市内事務所としての情報と知識、そして2社の過去からの協業実績を生かし協業により提案をまとめることで、教育空間の在り方や環境への配慮とともに、校内の地域動線など菊名小学校が抱える問題点の改善も踏まえた私たちらしい提案を行うことができました。



## 松田平田設計・白川設計共同企業体



## さかえ住宅建替え事業

敷地南側住宅地と矢上公園、河川敷通路をつなぎ、地域とのつながりを強くし、コミュニティ広場を設け、人の流れを生み出して交流の促進・活性化を図る事を提案しました。

河川敷通路は地域住民の憩いの空間としている現状を踏まえ、車輛動線を排除する計画とし、南側道路から新たに車輛動線を確保し緊急時を考慮して河川通路に接続させた事も評価のポイントであったと思います。



業務の進行については、フロントローディングの設計手法により課題の早期抽出を行う対応（課題管理表の作成にて対応）や、BIMの活用をアピールしました。

## 株式会社渡辺建築設計事務所



## 戸塚小学校建替え工事

戸塚小学校は、JR戸塚駅より徒歩5分程度の駅前商店街に位置する大規模な小学校です。『1,300人の子供たちの個性と交流を育む、多様な学び舎』をコンセプトに、敷地東西をつなぐ『学びの道』、校舎正面の『戸塚ひろば』、校舎内部には『学年コモンズ』や『教職員コモンズ』、『学びのギャラリー』等を提案しました。弊社としても初めての設計JVによるプロポーザルですので、今後設計の進め方等を模索しながら、児童や先生・地域に愛される小学校を創っていきたいと思います。



## 山下設計・川喜田建築設計共同企業体





これからの公共建築 ～過去2年の統括

横浜市では市立小・中学校施設の建替え公共建築物の延床面積で約 1,000 万㎡の約 4 割を占める学校施設を築 70 年まで使用することを前提に、約 1 兆円の事業費により、今後 30 年余りでの小中学校の整備を計画しています。また市営住宅も今後建て替えていく予定。市の公共建築物における床面積の合計は約 995 万㎡であり、その内、市営住宅の床面積は約 177 万㎡で全体の約 18%を占め、床面積では学校施設に次いで 2 番目の規模となっています。市営住宅の内、特に老朽化が進む昭和 30・40 年代に建設された住宅については、今後、一斉に建替えや大規模改修の時期を迎えることとなります。

■平成 31 年度 (2019 年)、(株)教育環境研究所所長の長澤悟氏、(株)みかんぐみ代表の加茂紀和子氏を講師としてお招きして長澤悟氏から、事例紹介を交えながら『学校づくりの 10 のキーワード』をご紹介頂き、固定観念にとらわれない新たな学校づくりをとのご意見を頂きました。また加茂紀和子氏からは、みかんぐみの学校建築作品を通して、地域性や周辺環境を活かした学校計画をご紹介頂きました。



2019 年 2 月 23 日開催

■令和 2 年度 (2021 年) は「これからの学校建築」と題して横浜の学校を過去手掛け最近のプロポーザルでも特定されている建築家の飯田善彦氏を講師にお招きして学校建築の先進事例や多くの課題への解決方法、そして横浜の学校建築の未来像等を考えました。



2021 年 1 月 30 日開催

そして令和 3 年度 (2022 年) は世界で活躍されている建築家の山本理顕氏の招聘を予定しています。

建築セミナー2022

開催日 令和 4 年 2 月 12 日 (土) 13:00 ~ 15:40  
 会場 zoom ウェビナーでの配信  
 参加費 無料  
 参加対象 組合員及び一般  
 定員 500 名  
 講師 山本理顕氏 山本理顕設計工場 代表取締役  
 申込方法 QR コードから参加者登録を行って頂き、届いたメールにてお申し込み下さい。





## 市場小学校オンラインセミナー

2020年4月に開校した、鶴見区にある市場小学校けやき分校のオンラインセミナーについて紹介させていただきます。

この学校の特徴は、大きく3つあります。

- ① 全国的にも珍しい5・6年生のみを対象とした分校
- ② 10年間の暫定利用校
- ③ 登下校やグラウンド利用は2階レベルからアクセス

このような条件下で、設計者としてどのように考え、どのような学校が完成したのか、教育環境研究会のメンバーで現地を訪れ取材を行いました。実際の使われ方やこれからの学校建築で設計者に期待することなどを、副校長先生にインタビュー形式で伺っています。

横浜市では今後、多くの学校が建替えの時期を迎えます。学校建築のひとつの例として参考になること間違いなし！是非、ご覧ください。

(YSK 会員限定の企画として、収録した映像を動画で配信予定です。編集が完了次第、改めてお知らせ致します。)



## 栄光学園オンライン研修会

教育環境研究会ではコロナ禍においても継続的な組合員研究活動の実施を目指し、鎌倉市にあります学校法人 上智学院・栄光学園中学高等学校の70周年事業として建設された木造・RC造ハイブリット構造の校舎のリアルタイムオンライン研修会を開催いたしました。

配信会場と現地をオンラインで結び現地からは副校長先生にもご出演頂くことで、設計者・発注者双方の想いを現地の今を交えて臨場感のある映像にてお届け致しました。また図面や写真だけでなく動画も用いながら意匠計画・構造計画まで細かくご紹介頂くことで、通常の会場開催の研修会以上に解り易い研修をお届けできました。

教育環境研究会では今後も様々な企画を予定しておりますので、ぜひ積極的にご参加頂ければ幸いです。





## 絵画同好会



YSK「絵画同好会」は毎月第二土曜日にYSKの事務局の会議室をお借りして忠隈先生ご指導のもと活動をしています。気候が良い春の5月には一泊にて地方に泊まりに行つて数枚の絵を気持ちの良い外でスケッチし、また年に一回、秋の10月の後半、吉田町の「みつい画廊」を借りて会員が描いた作品を展示する「展覧会」を1週間開催しております。



私が入ったのが約3年ほど前。過去、水彩画は全く経験がなかったので着色方法等まるで分らない中、描いております。忠隈先生いわく「とにかく自由に好きなように描きましょう!」の号令の元、皆様自由に思いのまま描いている印象です。私が続けられてきているのはこの絵を描いている時間、普段悩んでいることとか、うまくいかない事象をすっかり忘れて絵筆を動かす事が出来る、という魅力があるからかなあ、と改めて思っています。ここ数年YSKの組合員同様、高齢化でなかなか若い方が来てくれておりません。是非、絵画同好会、という事でなく、お絵描き会、という感じで皆様の参加をお待ちしております。

【写真は上が今年の絵画展でのスナップ。下が石塚画伯によるYSK及びYSSの前理事長の肖像画。満面の笑みを浮かべていらっしやいます。】

(バク建築設計事務所 小材)

## 有限会社 元塚設計

### 元塚 隆洋



この度、元塚隆文の後任として代表取締役役に就任致しました。以前は民間の小規模の木造を中心に設計をしております3年前にこの事務所に入った時は設計の違いに戸惑いましたが、ようやく慣れてきたところです。まだまだ

初めての事が多く皆様の協力を得ることが多くなることもありますが、日々努力を重ねてYSKの活動に貢献できるようにしていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

## 株式会社 山田建築設計事務所

### 押村 明弘



令和3年春より、山田正美の後継として代表取締役役に就任致しました。20余年にわたり所員としてYSK業務に携わり、諸先輩の方々から多くのことを学ばせて頂きました。これからは

代表者という新しい立場のもと、若輩者では御座いますが、今までの経験を生かし、全力を挙げて組合活動に貢献すべく、より一層精進いたす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





**株式会社川久保企画JRCチーム 佐藤 洋**

この度、前任者引継ぎにて協力会のメンバーに加入させていただくことになりました、株式会社川久保企画の佐藤と申します。前身は、JRC サービス株式会社で業務内容自体に大きな変更はございません。当チームは、既存構造物の各種調査及び新設構造物のコンクリート・鋼材試験及び環境測定・地盤等の土質分析・地盤試験業務を主に行っております。

また、私が所属しております構造物調査チームは、既存構造物に特化した調査等行っておりますので、皆様方からご相談いただいたことについて、適切なアドバイス等をしてまいりたいと考えております。弊社当チームは、「すべてはエンドユーザーのために」をモットーに、社会貢献を継続してまいりたいと考えております。

今後、皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



**関西ペイント販売株式会社 横浜営業所 所長 竹村 文宏**

この度、貴重なご縁をいただき新たに協力会に入会させていただきました関西ペイント販売株式会社横浜営業所の竹村と申します。関西ペイントは 1918 年の創業以来、日本の先進的な塗料メーカーとして成長し、今日では世界の代表的な塗料メーカーの地位を確立するに至っています。弊社のコアビジネスである塗料は、私たちの暮らしのなかで様々なものに塗られ、素材を保護して長持ちさせ、美しい色やデザインで価値を高め、特別な機能の付与により、便利さや快適さ、安心・安全を創出するといった役割が普遍的に求められています。微力ではございますが、これら私どもが培って参りました多種の塗料・塗装の技術力を少しでも皆様のお役に立てますように今後とも尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



**元旦ビューティ工業株式会社 神奈川支店神奈川営業所 窪田 壯**

本年度から新たに担当させていただきます、元旦ビューティ工業(株)の窪田と申します。

弊社は、大型建築や住宅の金属屋根・壁・樋を製造・販売する創業 55 年の金属屋根メーカーです。厳しさ増す自然環境において、屋根は高い耐久性や機能性が求められます。それらを備え意匠設計を実現する金属屋根をご提供いたします。

弊社元旦ビューティ工業(株)は、以前から Y S K 及び協力会にはお世話になっていますが、担当が変わって悪くなったとまらない様に、また皆様のお役にたてる様に、努めて参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。



**コマニー株式会社 市場開発部 五十嵐 翼**

この度、協力会に入会させていただきました、コマニー株式会社の五十嵐と申します。

弊社は「すべての人が光り輝く人生を送るために、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する」を使命とし、あらゆる空間で機能性やデザイン性を追求した商品を提供している、パーティションのリーディングカンパニーです。

近年では学校市場に注力しており、長寿命化計画に対応した溶接レス工法の高耐震学校用間仕切りやトイレを誰もが過ごしやすい空間になる様にカラーバリエーション豊富なトイレブースを取り揃えております。

皆様のお力になれるよう尽力してまいります。宜しくお願い致します。



**株式会社 LIXIL タイルチャネル営業部 吾郷 浩喜**

この度、協力会の新幹事をさせて頂くことになりました株式会社 LIXIL の吾郷(あごう)と申します。弊社は、2011 年にトステム・INAX・新日軽・サンウエーブ工業・東洋エクステリアの 5 社が統合して誕生した、住まいの水回り製品と建材製品を開発、提供する企業です。コロナ禍において、私たちの働き方や暮らし、環境は 大いに変化しつつあります。

LIXIL では 皆様のお仕事にお役に立てられるよう、オール LIXIL で 御提案させて頂きたいと思っております。

ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。

**【編集後記】** 令和3年もコロナの影響は続き、YSKでも多くの行事が影響を受けました。そんな中でもYSKは新体制を発足。今号の紙面でご紹介した通り、横浜市の建築局優良建築設計者表彰や学校建て替えのプロポーザルでの組合員事務所の活躍が目立った1年でした。令和4年も引き続き紙面が足りなくなるくらいの活躍を期待したいと思います。(広報委員長 石川 禎)

■ 発行 2022年1月13日

■ YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp

稲葉晃宏 石川禎 小倉宏志 児崎為之 小野哲広 横溝厚

■ 協力 株式会社アルテック 関西ペイント販売株式会社 株式会社サカクラ 株式会社LIXIL 文化シャッター株式会社 株式会社ヒライデ 田島ルーフィング株式会社 株式会社川久保企画 JRCチーム